

熊さん 「結構大変だね。で、あつしのでえ好きなバックのボケなんだけれど、これも望遠レンズの場合、遠近感の無さを利用したもんなんだろうねえ」。

御隠居 「ウン…、まあ…、そうだね。ここいらで『被写界深度』について一言触れないといけねえだろうな。

でも、その前に、今までくっちゃべったことをまとめてみよう。熊さんも、ちよいとこんがらがってきちまったんじゃないかねえのかい。そんな顔をしてるよ」。

熊さん 「よくご存じで……」。

お、丁度、飯ができたやしたぜ。じゃ、いただきますか。それから、ゆっくりとまとめてみましょう。おう、今、これを読んでる人、あつしらが飯食ってる間、茶でも飲みながら自分でもまとめてきな」。

*

*

※さて、左に、作者からの素敵なプレゼントがあります。お楽しみに。

トド

「あつ、ドモ。作者のトドです。熊さんは『まとめときな』なんて言っていますが、まとめるのは案外面倒なんですよねえ。それで、理解度チェック用の問題を作りました。わからない時は、5ページから8ページを読み直してください」。

(注意) この問題では便宜的に「絞りを閉じる」という言い方で統一していますが、「絞りを絞る」という言い方もあります。

※ **ヒント** 頭で考えるのではなく、実際にレンズやカメラを手にとって触りながら解いてください。なお、オートカメラをお使いの方は、マニュアルに切り換えてください。

① レンズの絞りリングの数値が小さくなるにしたがって、レンズ内の羽根は(開い・閉じ)ていく。また、数値が大きくなるにつれて、羽根は(開い・閉じ)ていく。

② バックをきれいにボカして撮影するには、絞りを(開け気味・閉じ気味)にする。特に、(A∞)は、絞りが完全に開いた状態をいう。

※ (A∞)は、ピントの合う範囲が浅くなるので、ピント合わせはしっかりと行いましょう。

③ 絞り値f8をf4にするというのは、二絞り分、絞りを(開ける・閉じる)ことである。